

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会長 細谷 誠  
幹事 松村 昌子  
会報委員長 内海 慶介

## お知らせ

- 3月のプログラム  
5 (No.1)-客話  
14 (No.2)-善行表彰式  
19 (No.3)-クラブフォーラム・卓話

- ニコニコBOX;  
祝誕生月  
細谷君 増田君 西森君

<ニコニコ会計累積/¥170,500>

- がんばるBOX;  
長町様、興味深いお話  
ありがとうございました  
細谷君  
川崎会員が入会されて  
高岡君

<がんばる会計累積/¥161,000>

例会場・事務局  
丸亀市塩飽町48-1  
丸亀プラザビル

## ■会長挨拶

だいぶ暖かくなってきました。今日は3月第一回目の例会です。今日は国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所工務第一課長の長町様による客話です。皆様もご存じかと思いますが、土器川の河口付近では堤防や河川敷の工事が行われていますが、このあたりの今後の計画などを含めお話しいただけるということで楽しみにしております。

さて今日は谷川会員に代わる新会員をご紹介します。琴参観光の川崎さんです。谷川さんに代わって親睦委員会をお願い致します。食事の時間が少なくなりますので一言だけ。

昨日免許の書き換えに行ってきたのですが、何がイヤって写真を撮り直さなければいけないのが嫌で、これまで使っていた免許証の写真は当然5年前ものですが、案の定撮り直すと5年経ったそれなりの顔に写っていて落胆した、というそれだけの話です。ただサザンの桑田さんも先月26日で70歳になりました。そのとき発信した言葉が「ここからが始まりでしょ」です。年をとり免許証の写真に落胆ばかりせず、無理矢理にでも気持ちを奮い立たせなければ、と思った次第です。

## ■幹事報告

- ①3/15(日)「おとなと子どものクラシックコンサート」サクラートたどつにて開催  
地区大会でピアノ演奏された田村真穂さん出演されます  
②3/25(水)丸亀市国際交流協会主催「春のお楽しみ会」開催

## ■理事会報告

- ①4月プログラム  
4/3(金)坂出東RCとの合同観桜会  
4/9 地区研修・協議会報告  
4/16 クラブフォーラム大西環境保全委員長  
会員卓話(古岩会員・川崎会員)  
②3/14(土)善行表彰式のお手伝いをお願いいたします

■例会事業;国土交通省 四国整備局 香川河川国道事務所  
工務第一課長 長町剛志様

国土交通省香川河川国道事務所の長町と申します。本日はこういう場にお招きいただきまして、ありがとうございます。短い時間ですが、土器川周辺の宅地化の状況と浸水リスク、それから橋の架け替え事業について、皆さんと一緒に共有できればと思います。

お手元の資料もあわせて見ていただければと思います。まず土器川ですが、流域面積が127平方キロ、延長33キロ、流域人口が約3.9万人です。国が管理する河川の中では規模は小さい方なんですが、人口は多い川です。昭和50年頃と令和3年を比べると、土岐町周辺は田んぼが多かったところが、かなり宅地化しています。図で赤い点々が宅地なんですが、昭和51年は宅地が3%だったのが、今は10%。その分、農地が減っています。農地が減ると雨水がしみ込みにくくなって、はげにくい。結果として、水が上がりやすく、浸水が起きやすい状況になります。さらに土器川は天井川の性質もあり、万一氾濫すると、西の方へ広く流れて、西中学校や城西小学校付近まで浸水する可能性もあります。ここはぜひ知っておいてください。



川崎新入会員



そのうえで橋の架け替え事業です。県道33号のところに蓬莱橋がありまして、橋が古くなっているので、以前から架け替えが必要だという話をしてきました。平成16年の台風のときには、水位が橋のすぐ下まで来て、あと少し上がっていたら橋に水が乗って流れる、堤防にも影響が出る、というところまで達しました。戦後最大規模と言われる出水です。またこの付近は川幅がキュッと狭くなる場所があって、流れが集中しやすい。そこで国としては、橋の架け替えに加えて、堤防を引いて川の断面を広げる引堤事業も進めています。

事業は国だけでなく県と連携して進めます。国は治水事業として橋の架け替えを行い、県は右折レーンの追加や自転車歩行者道の整備、さらに4車線化を街路事業として進める計画です。今年度、令和7年度から事業化して動き出しています。完成すると、片側2車線で右折レーン付き、両側に歩道も付く形になります。一方で理研茶屋地区側では交差点の形が変わったり、ラバーポールで締め切る案なども検討しており、安全面のメリットと利用の不便さのバランスを、地元のご意見を聞きながら調整中です。

工事は交通量が多いので段階的に行います。まず仮設橋を作って切り替え、既存橋を撤去して新しい橋を作り、できたらまた切り替えて次を架け替える、という流れで、全体で10年程度かかる見込みです。用地の状況もありますので、本格着手は令和8～9年度頃を想定しています。

最後に浸水リスクですが、最近は線状降水帯などで冠水も起きています。河川の外水氾濫だけでなく、下水道や水路からの内水氾濫も心配です。そこで国では外水と内水を合わせた「内外水」の浸水リスクマップを作り、頻度別にどこが浸水しやすいか示しました。土地利用や住まい方、企業のBCP、備蓄や設備の配置にも活用していただければと思います。国・県・市で対策を進めていきますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。以上です。